

《履修上の留意事項》基本的な算数・数学を使うため、義務教育レベルの算数・数学はできるようにしておくこと。
遠隔授業のみ実施。

《担当者名》西 基

【概 要】

保健統計に関し、計算法を含んだ知識を習得する。

【学習目標】

1. 保健統計で使われる諸手法について説明できる。
2. データを使用した基本的な統計解析ができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	疫学の基本概念	疫学指標・記述疫学	西
2	統計解析	代表値・標準偏差と正規分布	西
3	分析疫学(1)	分析疫学とは・コホート研究	西
4	分析疫学(2)	症例対照研究	西
5	分析疫学(3)	偶然誤差・バイアス・精度と正確度・カイ2乗検定	西
6	介入研究・横断研究・臨床疫学(1)	介入研究の実際・横断研究の問題点・スクリーニング検査	西
7	臨床疫学(2)	カットオフ値とトレードオフ・ROC曲線	西
8	疫学の基礎	疫学の基礎概念(罹患率・死亡率・致命率・人年法など)	西
9	疫学調査法(1)	記述疫学・横断研究・因果関係の判定基準・年齢調整死亡率	西
10	疫学調査法(2)	コホート研究・相対危険度・寄与危険度	西
11	疫学調査法(3)	患者対照研究・オッズ比・バイアス・層化	西
12	臨床疫学	スクリーニング検査・カットオフ値・ROC曲線	西
13	保健統計学の基礎	代表値・標準偏差・正規分布・相関係数・グラフの種類	西
14	検定(1)	有意水準・t検定	西
15	検定(2)・平均余命	カイ2乗検定・平均余命の計算方法	西

【評価方法】

原則として定期試験100%

【備 考】

教科書 : 『Simple Step公衆衛生』海馬書房 (前年度に引き続き使用; 1~7回に使用予定)
『保健師国試スキルアップブックNEO』第3版 海馬書房 (前年度に引き続き使用; 8~15回に使用予定)

その他 : 統計計算に関する演習などを適宜実施し、それまでの講義内容のフィードバックを行う。

【学習の準備】

予習として教科書の該当部分に目を通すことが望ましい(10分程度で可)。復習は、講義のあった日には必ずすること。その際、最低20分はかけ、計算問題などは必ず鉛筆を持って紙に書いて解き方を納得すること。何らかの事情で当日できなかった場合には、その週末にはすること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3

【実務経験】

社会医学系指導医、日本公衆衛生学会認定専門家。

【実務経験を活かした教育内容】

社会医学系指導医および日本公衆衛生学会認定専門家としての実務経験を生かし、医療・保健の現場における保健統計の実際を踏まえて講義を進める。